

小地域福祉活動推進指定事業 申請書

令和●年 ●月 ●日

若狭町社会福祉協議会 会長 殿

住 所 若狭町●● 1 - 1

申請者 区長 ●● ●●

電 話 080-●●●●-●●●●

下記により、指定集落に申請いたします。

集落名 (字)		●●●区		
代表者	住所	若狭町●● 1 - 1		
	氏名	●● ●●		
	連絡先	080-●●●●-●●●●		
推進組織	組織名	●●●区		
	人数	●●名		
	※記載枠が足りない場合別添可 メンバーや団体	氏名	●● ●●	備考 (役職、団体名など)
		●● ●●	区長	
		●● ●●	副区長	
		●● ●●	会計	
		●● ●●	民生委員	
		●● ●●	福祉委員	
●● ●●	子供会会長			
申請回数	1 回目			

●現在把握している福祉課題（集落の問題や個別課題等）

本集落では、人口減少と高齢化が進む中で、地域の支え合いの仕組みが弱まりつつあります。特に、ひとり暮らしの高齢者が増えており、日常の見守りやちょっとした相談がしにくい状況が見られます。

子供や子育て世帯に関しても、遊び場や交流の場が減ってきており、地域全体で子供を見守る機会が少なくなっています。若い世代と高齢者が顔を合わせる機会も減り、世代間のつながりが薄れてきていることも気がかりです。

こうした状況から、住民同士が気軽に声を掛け合い、支えあえる環境づくりが必要だと感じています。

●指定集落として取り組んでみたい内容

●住民同士の「顔の見える関係」をつくる場づくり

公民館や集落センターを活用し、無理なく参加できる小さな集まり（お茶会、健康体操、子供の遊び場開放など）を定期的に行い、世代を問わず交流できる機会をつくりたいと考えています。

●高齢者の見守り体制の強化

班長さんや近所同士の声かけを中心に、日常的な見守りを続けられる仕組みを整えたいと思っています。特にひとり暮らしの方や移動に不安のある方に対して、気軽に相談できる環境づくりを進めたいと考えています。

●年度ごとの目標と計画

1年目の目標：現状把握と土台づくり

<計画>

- ・ 班長さんや民生委員さんと協力し、ひとり暮らし高齢者や支援が必要な世帯の状況を把握する。
- ・ 公民館での小さな集まり（お茶会、健康体操、子供の遊び場開放など）を月1回程度でお試しする。

2年目の目標：交流の場を広げ、見守り体制を強化する

<計画>

- ・ 1年目の活動をもとに、世代を問わず参加しやすい交流会を月2回程度定期開催する。
- ・ 高齢者の見守りについて、班長さんや近所同士でできる無理のない見守りの仕組みづくり（声かけ、気になるときの連絡先共有）を行う。

3年目の目標：活動を定着させ、地域で続けられる仕組みをつくる

<計画>

- ・ 2年間の取り組みをふまえ、住民主体で続けられる活動を継続する。
- ・ 活動を支える小さな役割（声かけ係、会場準備係、高齢者の見守り係など）を住民で分担する。

●活動の目指すところ（指定期間後も活動を維持できる内容）

公民館や集落センターを活用したお茶会や健康体操、子供の遊び場開放など特別な準備を必要としない取り組みを続けることで、住民が無理なく参加できる環境を整えていきます。また、班長さんや近所同士の声かけを通じた見守りの仕組みも日常生活の中で自然に続けられる形にしていきたいと考えています。

小さな役割を住民で分担しながら進めていくことで、指定期間後も継続できる体制づくりを目指します。

●共同募金運動や広報に対してどのように協力いただけるか

共同募金運動の趣旨や期間、協力方法について班長さんの協力をお願いし、全世帯に情報を届けます。また、集落の奉仕作業や行事の際に短時間でも共同募金の案内を行い、住民に直接伝える機会をつくります。

●経費の内訳（支出）

項目	内容	予算額（円）		
		助成申請額	自己財源	小計
消耗品費	コピー用紙等、衛生用品	44,500		44,500
備品購入費	折り畳み椅子	25,000		25,000
	健康体操用備品等	16,500		16,500
通信広報費	ポスター作成	14,000		14,000
備品購入費	掲示板備品		10,000	10,000
消耗品費	飲みもの他		5,000	5,000
合計		100,000	15,000	115,000

●資金の内訳（収入）

項目	内容	金額（円）
助成金	指定集落助成金	100,000
自己財源		15,000
その他の収入		
合計		115,000

※支出の網掛けの合計と収入の網掛けの合計は一致すること